

■適用害虫と使用方法

2019年4月現在

| 作物名 | 適用害虫名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数 |
|--------------|--|------------|-------------------------------|----------|---------|------|-----------------------|
| 茶 | ヨモギエダシヤク、チャハマキ チャノコカクモンハマキ、チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ マダラカサハラハムシ、ハスモンヨトウ | 2000倍 | 200~400ℓ/10a | 摘採7日前まで | 1回 | | 1回 |
| りんご | シンクイムシ類、ハマキムシ類 ヒメボクトウ | 2500~5000倍 | | | | | |
| | キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ ケムシ類、ヨモギエダシヤク、オオタバコガ | 5000倍 | | | | | |
| もも ネクタリン | ハマキムシ類、ケムシ類 モモハモグリガ、シンクイムシ類 | 2500~5000倍 | | | | 散布 | |
| なし | ハマキムシ類、シンクイムシ類 ヒメボクトウ ケムシ類 ワタアブラムシ | 5000倍 | | | | | |
| おうとう | ハマキムシ類、オウトウショウジョウバエ ケムシ類、チャノキイロアザミウマ コスカシバ | 2500倍 | 200~700ℓ/10a | | 3回以内 | | 3回以内 |
| あんず | ケムシ類 | 2500~5000倍 | | 収穫7日前まで | | | |
| すもも | シンクイムシ類、ケムシ類 | | | 収穫14日前まで | | | |
| ぶどう | ハスモンヨトウ | 5000倍 | | | | | |
| | ケムシ類、チャノキイロアザミウマ | | | | | | |
| かんきつ | アゲハ類、ケムシ類、ハマキムシ類 アザミウマ類、ミカンハモグリガ ミカンキジラミ、ヨモギエダシヤク ケシクスイ類、ゴマダラカミキリ成虫 チャノミドリヒメヨコバイ コアオハナムグリ、ハスモンヨトウ | 5000倍 | | 収穫前日まで | | | |
| かんきつ (苗木) | ミカンハモグリガ、アゲハ類 ゴマダラカミキリ成虫 | 100倍 | 30~500mℓ/樹 (但し、130ℓ/10aまで) | 育苗期 | | | |

茶におけるハマキガ類防除の新提案 チャノコカクモンハマキの成虫期防除

果樹・茶用殺虫剤

エクシレル® SE

powered by
CYAZYPYR®
ACTIVE INGREDIENT



△効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液調整後はできるだけ速やかに散布してください。
- アルカリ性の農薬や肥料との混用は、有効成分が分解するおそれがあるのでさけてください。これらの薬剤と混用する場合には、メーカーや販売店等に問い合わせるなどして、分解の有無を十分確認してから使用してください。
- やむを得ず、他の薬剤と混用する場合には、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調整してください。
- ぶどうへは、果粉溶脱及び葉斑を生じるおそれがあるので、袋かけ以降に使用してください。また、無袋栽培(傘掛けを含む)には使用しないでください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- 適用作物群に含まれる作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすようにしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。

- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミヅバチに対して影響を与えるおそれがあるので、散布の際はミヅバチ及び巣箱にかからないようにしてください。また、散布直後から1日後まではミヅバチを散布区域外に移動させるか、巣門を閉じてください。
- マメコバチに対して影響を与えるおそれがあるので、マメコバチの訪花期間中は散布しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

殺虫剤分類 28

殺虫剤抵抗性管理 (IRM)

一般推奨事項：薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にわたって処理することは避けること。ブロック式ローテーション、即ち、エクシレル® SEまたは他のグループ28殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーションを使用すること。年間を通じて適応されるすべての「グループ28使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト
(1) Insecticide Resistance Action Committee (IRAC) ウェブサイト [http://www.irac-online.org]
(2) http://www.fmc-japan.com/Agricultural-Solutions/IRM

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

©2019 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC, FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。

エクシレルSE協議会

クミアイ化学工業株式会社 / 日産化学株式会社 / 丸和バイオケミカル株式会社 (五十音順)
事務局：エフエムシー・ケミカルズ株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビル8階 www.fmc-japan.com

製品情報は
こちらから



CO00M1904



チャノコカクモンハマキ
成虫

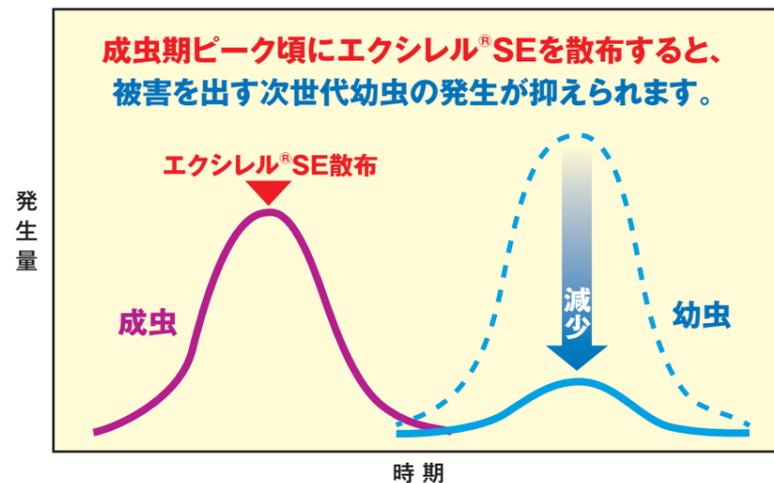
エクシレル®SEの新提案!

7月下旬から8月上旬の発蛾最盛期に徹底防除!

チャノコカクモンハマキに加え、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマも同時に防除!

成虫期防除

エクシレル®SEは、7月下旬から8月上旬に発生する第2世代成虫を対象に発蛾最盛期の防除を行うことで、成虫の正常な交尾や産卵を抑制し、次世代の幼虫の発生を低く抑えることができるため、チャノコカクモンハマキへの高い効果を期待できます。



圃場におけるチャノコカクモンハマキの成虫期防除

- 室内試験でチャノコカクモンハマキ成虫に効果が認められた薬剤の圃場における防除試験を行った。
- 結果は、成虫期(発蛾最盛日2日後)防除で高い効果を示した。(表1)

表1

| 供試薬剤 | 希釈倍数 | 幼虫頭数/㎡ | | | | 平均 | 防除率(%) |
|---------|------|---------------------|---------------------|------|------|------|--------|
| | | 成虫期防除 (発蛾最盛日2日後) | 慣行防除 (発蛾最盛日10日後) | | | | |
| | | I | II | III | IV | | |
| エクシレルSE | 2000 | 1.38 | - | - | - | 1.38 | 73.1 |
| A剤 | 2500 | 1.62 | - | - | - | 1.62 | 68.4 |
| A剤慣行防除 | 2500 | - | 1.20 | 2.60 | 2.40 | 2.07 | 59.6 |
| 無処理区 | | - | 3.40 | 8.40 | 3.60 | 5.13 | - |

試験担当部署: 静岡県茶業研究センター
 試験実施場所: 静岡県牧之原市布引原
 区制・面積: I区504㎡、1区制、IIおよびIII区50.4㎡、IV区25.2㎡、3区制
 チャノコカクモンハマキの発生状況: 少から中発生
 発蛾最盛日: 2016年8月2日

薬剤散布: 成虫期防除区は、2016年8月4日(発蛾最盛日2日後)に、慣行防除区は2016年8月12日(発蛾最盛日10日後)に400ℓ/10a相当を動力噴霧機で散布
 調査方法: 2016年8月25日に各区の生存幼虫数を50cmX50cmの枠を用いて、I区は枠200箇所(計50㎡)、II区とIII区は枠20箇所(5㎡)、IV区は、枠10箇所(2.5㎡)を任意に調査

チャノコカクモンハマキ成虫に対する産卵抑制効果

- 室内試験でエクシレル®SEの本種成虫に対する産卵抑制効果を検討した。
- 結果: 大卵塊がまったく産卵されず、産卵抑制効果が確認できた。(表2、図1) また、小卵塊においても、幼虫がふ化しなかった。

表2

| 供試薬剤 | 調査雌数 | 卵塊の大きさ* | 平均卵塊数/雌1頭 | | | |
|----------------|------|---------|-----------|-----|-----|------|
| | | | 1日後 | 3日後 | 7日後 | 10日後 |
| エクシレル®SE 2000倍 | 20 | 小 | 0 | 0.3 | 1.4 | 1.4 |
| | | 大 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 無処理 | 20 | 小 | 0 | 0.1 | 0.3 | 0.4 |
| | | 大 | 0.1 | 2.2 | 5.1 | 5.3 |

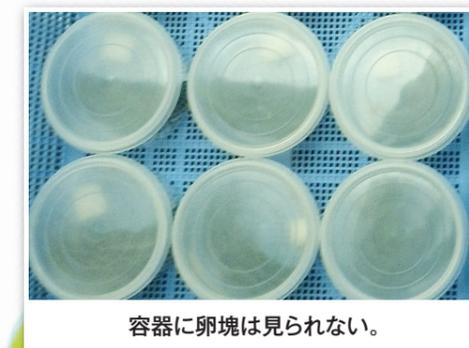
*: 卵塊の大きさ: 小=長幅5mm未満 大: 長幅5mm以上

試験担当部署: 静岡県茶業研究センター

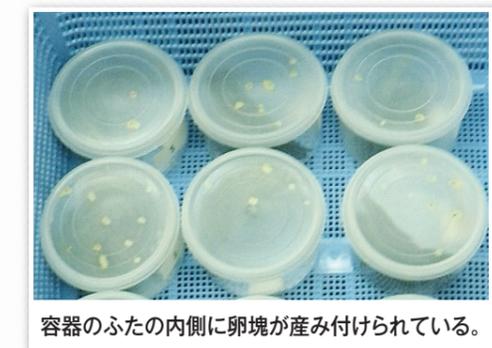
試験方法(ドライフィルム法+チャ葉浸漬法): 所定濃度の薬液をプラスチックカップに散布し風乾した。その容器にチャ葉浸漬法により準備した処理葉6枚を投入し、未交尾の雌雄成虫を2対放飼した。1, 3, 7, 10日後に卵塊の大きさと数を調査した。

図1

▼エクシレル®SE 2000倍



▼無処理



(参考) チャノコカクモンハマキの雌成虫は、自然界では、茶葉の裏側に産卵する。この試験では、茶葉の葉裏に当たる容器のふたの内側に卵塊を産み付けている。